

佐藤鐵太郎（さとう てつたろう）海軍軍人。慶應二年七月出羽國生れ、昭和十七年三月四日没（一九六一年九月二日）。善好士向。號藍染。明治二十年海軍兵學校卒。大正五年海軍中將陞任。一〇の艦隊（艦隊）清日露兩役に出征、第一艦隊參謀、宗谷、阿蘇各艦長、海軍大學校教官、第一艦隊參謀長、海軍軍令部次長、舞鶴鎮守府司令長官等任歴補。貴族院議員、奉天會會長と務めた。文筆に長じ、自傳主義者としてよくも有名。

著書に『帝國國防論抄』（明治四十五年一月一日水交社版、東京印刷株式會社）、『國權主義の自傳』（大正八年二月、二十日山西書店）、『大日本海軍史談』（昭和十五年五月、二十七日三笠京存會）、『北國體の論議』（昭和十五年十一月、二十四日奉天會社）等。

